

2023年 第46回5・15沖縄平和行進

自分は今回二回目の参加になります。天気にも恵まれ、雨も降らずいい気候の中で行進もできました。沖縄1日目は、三単産結団式を行い、そのあとに平和学習会を行いました。そこでは労働運動と反戦平和運動について、鈴木誠一委員長に講習をしてもらいました。そこでは戦後すぐに全港湾という労働組合が発足した経緯についてなど話してもらいました。

二日目は、ひめゆりの塔と旧海軍司令部壕の視察に行きました。ひめゆりの塔では、まず慰霊に黙祷をしてから資料館の方を見学しました。そこでは、戦争を体験した人の証言やビデオを見ました。思ったことはその日、一緒に話をしていた人が次の日になったら米軍の攻撃でいなくなってまた次の日になったらまた一人といなくなるっていうのを聞き胸が苦しくなりました。また食べるものも治す薬もなくなって、脳炎になった人や怪我で歩けなくなったりどうしようもなくなった人たちを牛乳に青酸カリを混ぜて飲ませて殺してしまうという話を聞いていて辛くなりました。

次に旧海軍司令部壕に視察に行きました。そこでは海軍が実際に使用していた武器や軍服、壕の中の司令室など見学させてもらいました。司令室で手榴弾を使い自決をはかった跡の壁などがあり弾痕が当時そのままに残っていました。日本兵の武器のほとんどが竹に刃物を巻きつけた槍で戦っていて、米軍は銃を使って戦う、理不尽な戦いを強いられているのを資料で見て命の無駄遣いだと思い悲しくなりました。

沖縄三日目は、平和行進で南部コースをまわりました。南部コースはひめゆりの塔に行き、沖縄平和記念公園まで行進しました。僕はその日はレンジャーをやらせてもらいました。行進をしながら風景などを見ていて思ったことは海と畑など自然が充実していて、そこに住んでいる地元の人たちは手を振ってくれたり、頑張っなどいろいろ声をかけてくれたり心が温かい人が多いなと思いました。

四日目は、平和と暮らしを守る県民大会に参加させてもらいました。沖縄の人の米軍に対するの思いや、基地の建設についての思いなどを話してくれました。沖縄の人たちは基地があるから仕事があり、ご飯が食べていけるじゃないかという沖縄の事情をしらない本土の人たちがいて、それを言われていて嫌な思いをしていると知りました。その後は宜野湾嘉数高台公園と辺野古基地建設予定地の視察に行きました。高台公園から普天間基地が一望できました。初めて普天間基地を見て思ったのがニュースだと基地しか映さないけど基地の隣に学校や住宅街があるのだと知りました。危険なところ基地があるので一刻も早

く返還されてほしいと思いました。

次に辺野古基地建設の予定地を視察しました。そこは自然が溢れていて海も綺麗でヤドカリが歩いていて旅行をするならすごくいいところだと思いました。こんな素晴らしい場所に基地が作られるって、酷い話だなと思いました。この自然を守るために基地は絶対に建設はさせてはいけないと思いました。

今回の活動に参加させてもらって思ったことは、いろいろなところを視察させてもらいながら戦争に使われていたものや実際に戦争にあった事などを聞いたりして涙が出そうなこともありました。戦争はなにも産まないし愚かな事だと思うので絶対に戦争はしてほしくないし、武器を作るエネルギーを人が豊かに暮らせるように向けて使って行って今後も戦争など起きないようにしてほしいと思いました。